

聖書に学ぶ会・特別セミナー 2015

希望の預言者ゼカリヤ

再臨が迫るエルサレムからのメッセージ



東京 10月12日(月・祝) 大手町サンケイプラザ
名古屋 10月15日(木) ウィンクあいち
大阪 10月17日(土) エル・おおさか

各会場の詳細については裏面の説明をご参照ください。

全て時間は午後2～5時

参加無料・席上献金あり



ヨセフ・シュラム師
エルサレムのメシアニック集会「ネティブヤ」指導者。ユダヤ的聖書解釈で知られ、ほぼ毎年来日。『神・イスラエル・教会』など著書多数が日本語で出版されている。



ユダ・バハナ師
「ネティブヤ」指導者の一人。エルサレムの貧しい人々への人道支援活動など、ネティブヤの多くの事業の責任者。ユース・リーダーとして次世代の育成も行っている。

主催: 聖書研究会 開催協力: シオンとの架け橋 <http://www.zion-jpn.or.jp/>
※いずれも予約は必要ありません。 問合せ TEL:078-341-7501 FAX:078-341-7502

希望の囚人 *The Prisoner of Hope*

預言者ゼカリヤは、9章12節で「希望の囚人」(口語訳: 望みをいただく捕われ人)という、意味深い言葉を使っています。希望は人類に生きる力を与える言葉です。パウロは信仰と希望と愛の三つがいつまでも残ると言いました。それらは単なる感情や情緒ではなく、最も暗く困難な状況の中で人を強く立たせ、目的に向かって歩ませる力なのです。ゼカリヤが「囚人」を「希望」と共に用いていることに、興味をそられました。普通、希望と言えば「自由」や「喜び」という言葉と共に用いられるものですが、ここで彼は希望を「囚人」という悪い言葉と共に用いました。

高名な聖書注解者ラシ(ラビ・シュロモ・イツハク: 1040-1105)は、この言葉がペルシャに捕囚されたユダヤ人を指すとして、「70年後に神の言葉が成就すると、神に望みをかけた人々」だと解釈しました。「囚人」という言葉が使われたのは、彼らが望みを捨てることができず、神が実際に約束を成就されるという信頼を失うことができなかつたからだというのです。また、他のユダヤ人の注解者マルビム(ラビ・メイル・レイブツシュ・ベン・エヒエル・ミカエル・ウィツサー: 1809-1879)はこの節について「救いを長年にわたり待ち望み続けている者は希望の囚人である」と言いました。マルビムの言葉は単純ですが深遠です。

今日、どれだけのユダヤ人とクリスチャンが、イスラエルと全被造物に救いが来ることを確信し「希望の囚人」となっているでしょうか。しかし、被造物全体、川、山、谷、植物、

動物も全てが産みの苦しみのようにうめき、私たちもまた「体のあがなわれること」を待ち望んでいると、パウロは書いているのです。(ローマ 8:22-23,26)被造物全体が「希望の囚人」であり、贖いを待ち望んでうめいているのです。

私は囚人にはなりたくありません。しかし、私にとって唯一の選択肢は「希望の囚人」になることです。神が子供たちに忠実であり、最後には約束を果たされるという希望を捨てたいとは思いません。もしその希望が無ければ、私たちの目の前にある薄暗いトンネルの最後に光は見えないからです。メシアが来て、義人たちが最後に勝利するという希望によって、希望の囚人である私は日々、信仰を強められているからです。希望の囚人であるから、私は力を与えられ、神の約束を信じるから熱心が湧いてくるのです。希望は私の力の源泉です。希望を抱く人々を笑う者たちもいますが、最後に笑う者の喜びが最も大きいのです。

歴史を通じて、イスラエル民族以上に「希望の囚人」だった民族はいません。火難や水難、そして人類史の最も暗い時代にも、ユダヤ人たちは神が忠実であり約束を守られるという希望を捨てませんでした。だからパウロはローマ書11章で「全てイスラエルは救われる」と宣言したのです。

兄弟姉妹の皆さんが、希望を捨てずに力強い「希望の囚人」であり続け、ついに栄光の主の帰還を見ることができるよう祈ります。ぜひ、セミナー会場でお会いしましょう。

ヨセフ・シュラム



■東京セミナー10月12日(月・祝)午後2~5時

大手町サンケイプラザ 3階 301・2号室

JR 東京駅 徒歩7分 地下鉄 大手町 E1・A4出口直結

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 TEL:03-3273-2258

<http://www.s-plaza.com/>



■名古屋セミナー10月15日(木)午後2~5時

ウインクあいち(愛知県産業労働センター) 12階 1204号室

JR・地下鉄・名鉄・近鉄 名古屋 徒歩7分

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL:052-571-6131

<http://www.winc-aichi.jp/>



■大阪セミナー10月17日(土)午後2~5時

エル・おおさか(大阪府立労働センター) 南館10階1023号室

京阪・地下鉄 北浜・天満橋 徒歩7分

540-0031 大阪府大阪市中央区北浜東3-1-4 TEL:06-6942-0001

<http://www.l-osaka.or.jp/>

■長野県茅野市でもセミナーを開催 テーマ:「神・イスラエル・教会」10月14日(水)午後7~9時

好評の著書について、ヨセフ・シュラム師に語っていただきます。(ユダ・バハナ師は参加されません。)

会場: 茅野キリスト教会 391-0005 茅野市仲町11-21 TEL:0266-72-4326 JR茅野駅から徒歩5分